

令和4年度 数学 科  
**教科名等**

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
Z数学Ⅲ	数学Ⅲ	3	A B	5	必修選択	168 時間

**教科担当・教材等**

授業担当者名	
授業形態	習熟度2展開
教科書	高等学校 数学Ⅲ 数研出版
使用教材等	数研出版 クリアー数学Ⅲ 完成ノート 式と曲線, 関数, 極限, 微分法とその応用, 積分法とその応用 数研出版 チャート式基礎からの数学Ⅲ 数研出版 リンク数学演習Ⅲ

**科目の目標・内容等**

学習目標	平面上の曲線, 極限, 微分法および積分法についての理解を深める
学習における留意点	事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとさせる。
予習・復習	予習:教科書、チャート式基礎からの数学Ⅲ 復習:完成ノート、リンク数学演習Ⅲ
評価方法	考査、提出物等総合的に判断する

**年間授業計画**

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	第2章 式と曲線 第3章 関数 第4章 極限 第5章 微分 第6章 微分の応用 第7章 積分とその応用 第6章 微分の応用	円錐曲線、いろいろな関数、数列・関数の極限、三角関数と極限、関数の連続性、微分係数と導関数、いろいろな関数の導関数、接線と法線、不定積分、置換積分法、部分積分法、いろいろな関数の定積分など 接線と法線、平均値の定理、関数の値の変化、関数の最大と最小	平面上の曲線, 極限, 微分法および積分法における基本的な概念, 原理・法則などを体系的に理解し, 知識を身に付けている 数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているなど 平面上の曲線と複素数平面, 極限, 微分法における応用的な概念, 原理・法則などを実践的な力を知識
2	第7章 積分とその応用 応用問題演習	面積、体積、曲線の長さ、速度と道のり、入試問題演習と解説	平面上の曲線と複素数平面, 極限, 積分法における応用的な概念, 原理・法則などを実践的な力を知識を身に付ける 数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているなど
3	応用問題演習	入試問題演習と解説	実践的な力を知識を身に付ける

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。